

さかき

No.152

平成30年10月31日

議会だより



入れ～！！

(南条保育園運動会)

9月定例会

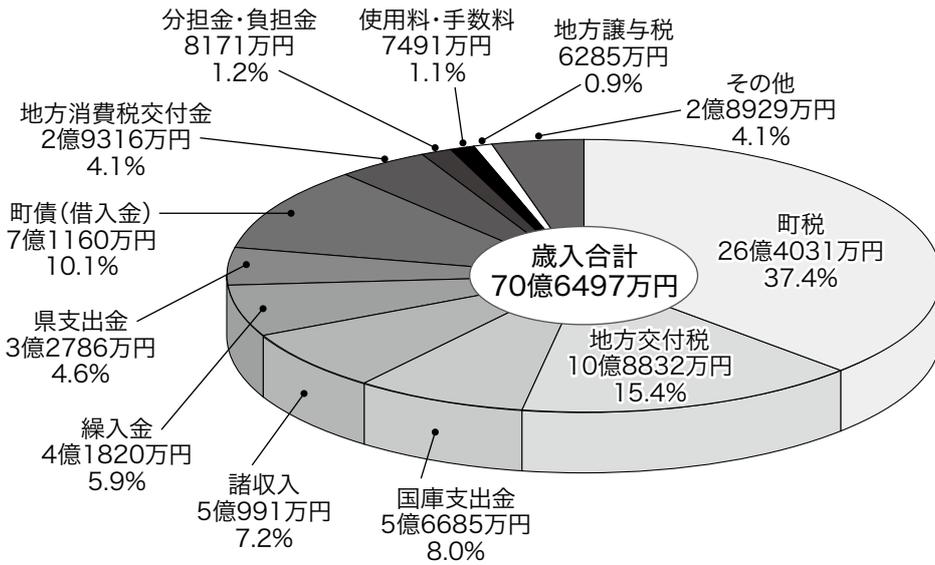
- 29年度決算を認定
..... 2ページ
- ここが聞きたい！一般質問10名
..... 10ページ

デジタル防災行政無線（同報系）整備、南条児童館移転新築など

万円を認定！

第3回定例会（9月） 決算議会

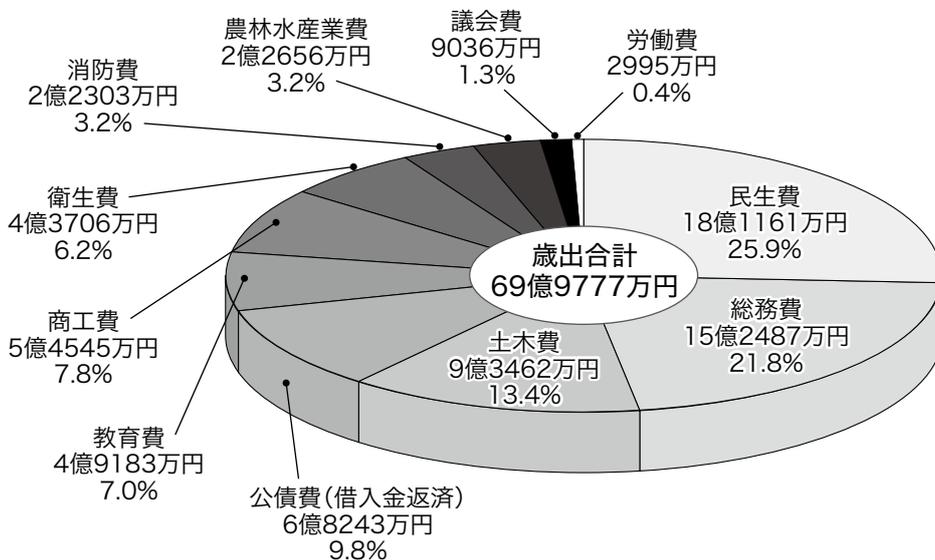
歳入 町税、地方交付税ともに増加



一般会計

歳入総額	70億6496万5857円
歳出総額	69億9776万5322円
差引額	6720万535円

歳出 子育て支援や生活基盤整備の実施



9月議会定例会は3日に開会され、一般質問には10人が登壇した。29年度の一般会計および各特別会計決算の認定をはじめ、教育委員会委員、固定資産評価審査委員会委員などの人事案件、30年度一般会計、各特別会計補正予算などを原案のとおり可決した。また、議会提案の意見書2件を可決し、21日に閉会した。

歳入は、企業の業績が好調なことや取扱店の増加による町たばこ税の増などにより、町税全体の増額となった。また、地方交付税も基準財政収入額が前年度より減額算定となったことから、全体で7.0%約7100万円の増額となった。

歳出は、防災行政無線（同報系）整備事業や南条児童館建設事業などを行い、前年度と比べ、普通建設事業全体で7億1900万円の大幅増となる約12億1200万円となった。ソフト事業では、「高齢者元気見守りシステムKIZUKI」の実証実験や不妊・不育症治療に係る助成事業の拡充、移住定住促進補助金の創設など定住人口の増加と地域の活性化事業を進めた。

平成29年度一般会計決算 対前年度比12.5%の増

歳出総額 69億9777

会計名	歳入	対前年度増減率	歳出	対前年度増減率
有線放送電話	2億 608万円	656.4%	2億 586万円	670.0%
国民健康保険	18億1864万円	△4.1%	17億6261万円	△5.3%
同和地区住宅 新築資金等貸付	154万円	△47.3%	153万円	△47.6%
下水道	8億5105万円	△9.0%	8億1023万円	△11.2%
介護保険	13億4468万円	5.3%	13億2471万円	4.6%
後期高齢者医療	2億 197万円	7.4%	2億 184万円	7.3%
合計	44億2396万円	△0.9%	43億 677万円 ^{*1}	△2.0%

※1 合計額は、各特別会計の歳出総額を千円単位で四捨五入しているため、それぞれの合計額と合わない場合があります。

※2 工業地域開発事業特別会計は皆減(29年度の事業費が0円)

29年度は有線放送電話特別会計の同報系防災行政無線整備による設備基金からの繰り入れによる大幅増のほか、工業団地の売却に係る工業地域開発事業特別会計の皆減^{*2}や下水道事業特別会計の事業進捗に伴う工事費の影響などにより、歳出決算額で前年度比マイナス2・0%、約8700万円の減となった。

なお、28年度は前田工業団地売却に伴う工業地域開発事業を含む7会計であったが、29年度は6会計となっている。

特別会計

歳入総額	44億2396万4995円
歳出総額	43億 677万4222円
差引額	1億1719万 773円

決算審査報告

監査委員

大橋 房夫
塚田 正平

29年度一般会計、特別会計及び財政援助団体(一般財団法人更埴地域勤労者共済会)の決算審査を、7月18日から30日まで実施した。財政健全化判断比率の審査を、8月17日に行った。

審査の結果

審査に付された各会計歳入歳出決算及び附属書類は、いずれ

も関係法令の定める様式に従って作成されており、決算の計数は諸帳簿と符合して正確であることを認めた。

また、財政健全化判断比率及び算定書類は、いずれも関係法令の定める様式に従って作成されており、比率の計数は算定書類と符合して正確であることを認めた。



第58回町民運動会

委員会審査

総務産業・社会文教常任委員会に付託された、29年度一般会計決算の各項目について、9月13日・14日の2日間で、関係資料をもとに慎重かつ詳細に審査を実施した。両委員長は21日の本会議で審査の概要を報告した。その主な内容は以下のとおりである。

一般会計

総務産業常任委員会

ふるさと寄付金増

委員長 吉川まゆみ

総務課

歳入

問 入湯税の当初予算700万円を補正で減額した理由は。

答 入湯者の減少分と課税免除者の増加が影響していると考ええる。

問 財産収入の18号バイパス建設に伴う普通財産の売り払いの内容と売却単価は。また、他に主なものは。

答 小網地区の売り払いで、売却単価は1平米当たり8千円〜8600円である。その他は坂城インター先線延伸事業に伴うものなどである。

問 軽自動車税の滞納者の内訳は。

答 現年度分34人、滞納繰越分82人である。

歳出

問 坂城町役場の障害者雇用率は。

答 今年の4月から国・地方公共団体の法定雇用率は2・5%となったが当町は3・26%で基準を上回っている。

問 税償還金・還付加算金の内訳は。

答 法人町民税は、確定申告に伴う前年の予定納税の過納額の還付が15件。町民税は、期限後の所得税の確定申告等に伴う税額更正による還付が79件である。

問 有害鳥獣対策事業の内容は。

答 29年度は約337万円である。

問 寄付金額から返礼品に係る諸経費と町税への影響額を差し引いた実質的な収入金額は。

答 約2200万円になる。

会計室

問 コンビニ収納の町税納付に占める割合は。

答 町税全体の納付件数の約19%である。

企画政策課

問 ふるさと納税で町民が他市町村へ寄付したことによる町税への影響額は。

答 29年度は約337万円である。

問 寄付金額から返礼品に係る諸経費と町税への影響額を差し引いた実質的な収入金額は。

答 約2200万円になる。

問 自治会活動保険の補償実績は。

答 6件、7万9800円である。

商工農林課

問 猟友会への駆除の委託のほか、地域住民と猟友会が連携して駆除を行う集落捕獲隊や集落全体を囲う進入防止柵などの対策を実施した。

答 31年度はその申請や都市計画法用途地域の変更、公安委員会との協議を実施。32年度は用地買収、開発行為の申請と道路改良事業の申請をする予定である。33年度は工業団地造成工事及び道路改良工事を実施し、34年度の分譲開始を目標に進める。



インター先線工事始まる

建設課

問 空き家バンク利用促進補助金の利用状況は。

答 家財用具の片付け2件。台所、浴室、外壁等の改修3件である。

問 64号橋（役場前）の工事内容は。

答 橋梁の架け替えに伴い、現在の橋の上流に仮橋をつくり、車両等の通行を確保しながら工事を行う予定である。また、国道交差点から役場前までの道路改良も行う予定である。

問 大望橋付近の千曲川左岸の護岸整備は。

答 今年千曲川河川事務所、護岸補修工事をした。11月以降の渇水期に大望橋上流の護岸災害工事を実施と聞いている。

社会文教常任委員会

特殊詐欺

非常事態宣言

委員長 柳沢 収

住民環境課

問 町内での特殊詐欺被害の特徴は。

答 3件とも被害者は高齢者で、2件がオレオレ詐欺、1件が還付金詐欺であった。昨年11月には「坂城町特殊詐欺非常事態宣言」を発令し、マスクミなどを通じ周知したほか、広報車、広報さかき、チラシ、有

欺、1件が還付金詐欺であった。昨年11月には「坂城町特殊詐欺非常事態宣言」を発令し、マスクミなどを通じ周知したほか、広報車、広報さかき、チラシ、有

欺、1件が還付金詐欺であった。昨年11月には「坂城町特殊詐欺非常事態宣言」を発令し、マスクミなどを通じ周知したほか、広報車、広報さかき、チラシ、有

欺、1件が還付金詐欺であった。昨年11月には「坂城町特殊詐欺非常事態宣言」を発令し、マスクミなどを通じ周知したほか、広報車、広報さかき、チラシ、有



ポンプ操法大会
消防ポンプ操法訓練場（坂城大橋下）

線放送、すぐメールなどを活用し、被害防止に努めた。

問 成人式で消防団員の勧誘を行っているが、手ごたえは。

答 学生のため県外に住んでおり「すぐには入団できないが、地元に戻ったら入ります」などの返事を複数もらっている。

問 坂城消防署の職員体制は。

答 現在は1班5人の3班編成で、署長を含め、16人体制である。31年度からは、3人増員し19人体制となる予定である。1班が6人になると消防と救急など同時に2つの車両が出勤することが可能となる。

福祉健康課

問 民生児童委員1人当たりの訪問回数が年間145回で、月平均12回ほどになる。高齢化も進んできており、民生委員の負担が大きくなっている。委員の人数を増やすべきではないか。

答 民生児童委員の定員については、県で枠がある

り、市町村間での調整が必要となるため、要望すれば増員になるわけではない。

問 更埴地域シルバー人材センターへの仕事の依頼主は。

答 民間が約65%、公共が約20%、残りは家庭・個人の依頼である。29年度末の町の会員数は161人である。

問 出産祝金について、もつと増額できないか。

答 今後、町や議会等、皆で検討していく。

問 がん検診での要精検者が未受診の場合の受診勧奨は。

答 文書により個別に勧奨を行っている。

問 離乳食の作り方や栄養バランスなど、母親に知ってもらう機会はあるか。

答 乳幼児健診や相談で、栄養指導の他、離乳食の柔らかさを体感してもらったり、子どもにも試食をしてもらっている。

教育文化課

問 登録外児童の児童館

利用状況は。

答 南条児童館785人、坂城児童館79人、村上児童館50人である。

問 子育て支援センター利用者数の増加理由は。

答 2歳児向けの育児講座「わくわくタイム」などの新規開設や外国人世帯対象の懇話会の開催などによる。

問 奨学金申請者と支給者人数は。

答 29年度は11人の申請に対して全員に支給した。

問 運動会に不参加の分館もあるが、対処は。

答 一部の競技でも、と参加を勧めている。参加年齢の幅を広げる競技など内容を工夫している。

問 図書館の開館日が増えているが、理由は。

答 祝日と月末の図書整理日を休館していたが、開館するようになったため開館日が増えた。

問 学校給食の地産地消の割合と品目は。

答 29年度は8%である。品目は、主に玉ネギ、ニンジン、ネギ、リンゴ、ブドウやねずみ大根の切干である。

委員会審査

特別会計

付託された29年度6特別会計決算について、慎重かつ詳細に審査し、両委員長は本会議で審査の概要を報告した。その主な内容は以下のとおりである。

総務産業常任委員会

委員長 吉川まゆみ

有線放送電話

防災行政無線へ移行

問 村上分散局と南条分散局の今後は。

答 村上分散局は、今年度解体が完了した。南条分散局は、交換機等の設備の撤去が完了。建物については、泉区より土のう置き場として譲渡依頼

があり、無償で譲渡した。

有線柱の撤去状況は。

答 約2千本を撤去する予定だが、8月末現在で約120本の撤去が完了した。

有線特別会計と基金の今後は。

答 30年度の財源は全て基金を充当しており、年度末に残額が出れば基金



譲渡された南条分散局

同和地区住宅 新築資金等貸付

特別会計を廃止

問 滞納の状況は。

答 滞納額は2679万円、6人9件分である。

滞納者への対応は。

答 特別会計廃止に伴い一般会計に債権を引き継ぎ対応している。今後も定期的な通知、電話、訪問により回収に努める。

下水道

収入未済額の圧縮

問 受益者負担金の収入未済の件数と最高額は。

答 現年分は25件、最高額は18万6千円である。また、滞納繰越分は69件、最高額は129万3910円である。

問 収入未済への対策は。

答 督促状、催告書の通

に戻す予定である。残った基金は起債額と調整を図る中で、全額を防災行政無線の整備に充当する計画である。



'18 下水道ふれあいデー（クリーンピア千曲）

知に加え、電話連絡や臨戸による徴収を行い、金額が多い者については、分納誓約により収入未済額の圧縮に努めている。

問 流域下水道事業費の負担金の内容は。

答 処理場の改修、中央監視室の改築、汚泥処理施設の工事等、主に処理場施設の工事負担金である。

問 下水道地図情報システムの内容と活用方法は。

答 下水道工事実施個所の平面図、縦断図のデータを取込み、パソコンから参照できるシステムであり、これまで農地であったところを宅地にする際に、公共樹の設置可否を確認するために利用できている。また、管路情報が全てあった際、対応が必要な箇所の特定ができる。

社会文教常任委員会

委員長 柳沢 収

国民健康保険

1人当たり医療費

38万5千円

問 軽減世帯の7割・5割・2割の世帯数および滞納世帯数は。

答 医療分・支援金分の7割軽減は463世帯、5割軽減は321世帯、2割軽減は301世帯。介護分の7割軽減は195世帯、5割軽減は103世帯、2割軽減は106世帯。滞納世帯は7割軽減が22世帯、5割軽減が15世帯、2割軽減が6世帯である。

問 短期証43件の内訳は。また、現状は。

答 29年度末で6カ月1件、3カ月1件、1カ月41件。30年8月末現在では6カ月0件、3カ月1件、1カ月37件で計38件である。

問 1人当たり国保税と医療費および県内順位は。また、診療費と調剤費の割合は。

答 29年度の1人当たりの国保税は8万9670円で、医療費は速報値で38万5403円、県下で高い方から13番目である。29年度医療費用額12億8835万円の内、診療費は10億913万円で78・3%、調剤は2億4440万円、19%である。

問 高額療養費の件数と最高額は。

答 一般国保の高額療養費は2390件で、最高支給額は116万5563円、退職国保の高額療養費は49件で、最高支給額は、22万4121円である。

介護保険

介護施設入所者数176人

問 要介護認定されたがサービスを受けない人はいるか。

答 30年3月末の利用状況から要介護認定者745人中、84人がサービスを利用していない。利用率は88・7%である。

問 介護施設入所者数は。

答 30年3月現在、介護老人福祉施設109人、介護老人保健施設58人、介護療養型医療施設9人の合計176人である。

問 総合事業への移行の状況は。

答 総合事業は昨年4月から開始し、予防給付から地域支援事業へ102人が順次移行した。

問 地域密着型サービスの状況は。

答 認知症対応型通所介護が利用延べ人数156人、認知症対応型共同生活介護が利用延べ人数176人、介護老人福祉施設入居者生活介護が利用

延べ人数238人、地域密着型通所介護が利用延べ人数812人である。

問 後期高齢者医療1人当たり医療費90万円軽減の状況は。9割特例軽減者は。

答 29年度の1人当たり医療費は。90万124円の高い方から県内5番目である。

問 29年度の1人当たり医療費は。

答 8・5割軽減538人、7割軽減367人、5割軽減374人、2割軽減322人。9割特例軽減者は71人である。

問 29年度の1人当たり医療費は。

答 9割軽減400人、

問 29年度の1人当たり医療費は。

答 90万124円の高い方から県内5番目である。



宅老所 憩いの家 (小網)



熱唱 十八番

第3回定例会(9月)の議案審議

総額9899万3千円を追加する一般会計補正予算(第3号)を、原案のとおり可決した。歳入の主なものは、地方交付税、土地売払収入、町債(借入金)、前年度繰越金である。歳出の主なものは、今後負担増が見込まれる広域行政事業基金への積立金、鼠区環境整備等補助金、産地パワーアップ事業交付金、機械要素技術展出席補助金、水路改良工事費等である。

また、台風21号による農作物の被害対応や町道、林道の災害復旧の対応として総額220万円を追加する補正予算(第4号)も原案どおり可決した。

なお、記録的な猛暑に緊急対応するため、3階に普通教室がある坂城小学校、村上小学校、坂城中学校にエアコンを設置する工事など570万円を増額する専決処分の報告について承認した。人事案件として、人権擁護委員、教育委員会委員、固定資産評価審査委員会委員、千曲市坂城町等公平委員会委員について原案のとおり可決した。



二人三脚食いしん坊リレー(町民運動会)

一般会計補正予算(第4号)

問 台風21号による農業被害と林道被害の状況は。

答 主にぶどう、りんごの被害で合計233件となっている。内容はぶ

どう棚の倒壊と果樹の落下である。林道等については、7路線及び金比羅山遊歩道の倒木となっ

ている。

人事(教育委員会委員)

問 教育委員と消防団副団長が兼任となり、それぞれの任務を果たすためには分けるべきではないか。

答 教育委員は複数で、また現在も兼任されており、特に支障ないと考え

人事

人権擁護委員

町が議会に意見を聞き法務大臣に推薦するもので、任期は3年。

小林 晴茂氏(月見)再任

任期満了に伴い、再任について適任とした。

林 律子氏(四ツ屋)新任

小林直美氏の任期満了に伴い、後任として適任とした。

竹内 琴美氏(新地)新任

三橋玲子氏の任期満了に伴い、後任として適任とした。

島田 秀一氏(中之条)新任

若麻績節子氏の任期満了に伴い、後任として適任とした。

教育委員会委員

鈴木 忠氏(北日名)再任

任期満了に伴い、再任について同意した。任期は4年。

固定資産評価審査委員会委員

小熊 友和氏(金井)再任

任期満了に伴い、再任について同意した。任期は3年。

千曲市・坂城町等公平委員会委員

中村 トモエ氏(千曲市)再任

任期満了に伴い、再任について同意した。任期は3年。

審議結果一覧

1 賛否が分かれた議案

(○は賛成、×は反対)

(議案名)		(議員氏名)													
		小宮山定彦	朝倉国勝	柳沢収	滝沢幸映	吉川まゆみ	塩入弘文	塚田正平	山崎正志	中嶋登	大森茂彦	入日時子	塚田忠	西沢悦子	塩野入猛
人事	坂城町教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	議長職
平成28年度歳入歳出決算の認定	国民健康保険特別会計	○賛成討論	○	○	○	○	×	○	○	○	×	欠席	○	○	

2 全会一致で可決された議案

(1) 専決処分

- ① 平成30年度一般会計補正予算(第2号)

(2) 人事

- ① 人権擁護委員の推薦(4件)
- ② 固定資産評価審査委員会委員の選任
- ③ 千曲市・坂城町等公平委員会委員の選任

(3) 平成29年度歳入歳出決算の認定

- ① 一般会計
- ② 有線放送電話特別会計
- ③ 同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計
- ④ 下水道事業特別会計
- ⑤ 介護保険特別会計
- ⑥ 後期高齢者医療特別会計

(4) 平成30年度予算

- ① 一般会計補正予算(第3号)
- ② 一般会計補正予算(第4号)
- ③ 有線放送電話特別会計補正予算(第1号)
- ④ 国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- ⑥ 下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- ⑦ 介護保険特別会計補正予算(第1号)
- ⑧ 後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

(5) 意見書

- ① 義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書
- ② 国の責任による35人学級推進と教育予算の増額を求める意見書

3 全会一致で否決された議案……なし

4 請願審査結果

件名	提出者	付託常任委員会	審査結果
義務教育費国庫負担制度の堅持を求めることについて	長野県教職員組合坂城町単位組合 執行委員長 市川 忠志 紹介議員 大森 茂彦	社会文教	採択 意見書提出
国の責任による35人学級推進と教育予算の増額を求めることについて	長野県教職員組合坂城町単位組合 執行委員長 市川 忠志 紹介議員 大森 茂彦	社会文教	採択 意見書提出

ここが聞きたい！ 一般質問

(一般質問の文章は、質問者の責任で作成しています)

ブロック塀

撤去等費用への助成は

住宅リフォーム補助で対応

問 女子児童が倒壊したブロック塀の下敷きになり、亡くなるという痛ましい事故を受け、文科省より教育施設と通学路の緊急点検の依頼があった。その調査結果は、
町長 施設内にはブロック塀がない。通学路については、対象のブロック塀のうち調査が必要な箇所を点検。問題点のある数カ所について



吉川 まゆみ 議員

問 制度開始から5年。利用者が対象者に対して
町長 「坂城町住宅リフォーム補助事業」の要綱を見直す中で支援したい。
訪問理美容サービスは

児童・生徒に近寄らないよう注意喚起を図った。
問 町内にあるブロック塀等の安全対策は、
建設課長 「ブロック塀等の安全性確保に向けた行動指針」に基づき、所有者に再度安全点検の実施を促していく。

2割と少ないが。利用拡大への取り組みは。
福祉健康課長 利用されていない方の実態を把握し、再度周知していく。

問 登録事業者への聞き取りの実施を。
福祉健康課長 機会を捉えてご意見を伺い、改善点を整理していく。



転倒したブロック塀
(長野県「ブロック塀の点検表」より)

質問項目

吉川 まゆみ 議員 10 ページ

- ① 訪問理美容サービス事業について
- ② ブロック塀の安全対策について
- ③ 防災対策について

塩入 弘文 議員 11 ページ

- ① 健康づくりは口腔ケアから
- ② 安心・安全な防災体制を

中嶋 登 議員 11 ページ

- ① 子どもの引きこもりについて
- ② 大人の引きこもりについて
- ③ 子ども食堂について
- ④ ふるさと納税について

朝倉 国勝 議員 12 ページ

- ① 買物弱者対策について
- ② 防災対策について

滝沢 幸映 議員 12 ページ

- ① 公文書・古文書について
- ② 生涯スポーツの振興について

小宮山 定彦 議員 13 ページ

- ① 発災時の避難について
- ② 数々の町民からの意見、要望について

柳沢 収 議員 13 ページ

- ① さわやかな町に
- ② バランスの良い町に
- ③ 顔の見える町に

塚田 正平 議員 14 ページ

- ① しなの鉄道について
- ② インター先線と新工業団地について

入日時子 議員 14 ページ

- ① 防災について
- ② 子育て支援について

西沢 悦子 議員 15 ページ

- ① 災害ごみ処理計画について
- ② 子どもの安全について

口腔がん検診を

総合的に考える



塩入 弘文 議員

問 今、健康づくりで口腔ケアが注目されている。町内小中学生の虫歯の状況はどうか。また、対

策は。

町長 虫歯のある小学生は11・5%、中学生は10・9%であり、受診勧奨をするとともに全学級に歯科衛生士による指導を行っている。

問 怖い口腔がんが増加している中、町として口腔がん検診や早期発見のための機器を導入するため、歯科医に支援できな

いか。

町長 口腔がんは他のがんに比べ罹患者数が少ないので、検診は総合的に判断していく。機器の導入については、歯科医の意見を聞きながら考えていきたい。

安心・安全な

防災対策を

問 今年には豪雨、台風、地震、酷暑と自然災害が次々と起きた。想定外の災害はどこでもあり得る。自分たちの地域は自分たちで守るため、自主防災会の強化をどう図るか。

住民環境課長 地区の

ハザードマップを作るときは講師を派遣したり、訓練の実施に協力する。また、地区独自の支え合いマップを作成するときは社協がお手伝いする。区長会で各地区の自主防災会の取り組みの情報交換をし、今後も活動の支援をしていく。

小中学生の不登校者数は

26年度をピークに減少

引きこもり



中嶋 登 議員

し、教育相談などを継続的に受けられるよう、体制整備を図っている。

ふるさと納税について

問 郵便局との提携内容と目標額達成は。

町長 郵便局の見守りサービスは2種類あり

「訪問型」は局員が両親宅を訪問し、体調や食事等の状況10項目を聞き取り、写真も添えて町外に住む家族に報告する。寄付額は1年コースで11万円以上である。

「電話型」サービスは、毎日自動音声で両親の健康を確認し、結果が家族に報告される。寄付額は1年コースで5万円以上である。

29年度は約4千500万円の寄付があり、30年度は5千万円以上を期待している。



心肺蘇生訓練（町総合防災訓練）

問 町内小中学生の不登校や引きこもりの実状と今後の施策は。

教育文化課長 3小学校合計の不登校者数は、26年度4名、27年度2名、28年度1名、29年度3名である。

中学校は、26年度29名、27年度16名、28年度9名、29年度5名と、大きく減少してきている。中学校内のフレンドリールームや大峰教室を運営してきた。また、さらに教育コーディネーターを配置



お変わりないですか
（「郵便局みまもりサービス」より）



朝倉 国勝 議員

右岸にスーパー誘致を

買物弱者対策を前向きに

町の活性化

問 町の魅力度向上と活性化を図る施策として、千曲川右岸にスーパーの誘致を提案したいが。

町長 買物の機会を提供するため、23年11月から県下初の移動販売車を展開し、当初は7カ所で、現在は3カ所で行っている。また、シルバー人



ため池（上平）

材センターによる買物支援サービスや循環バスによる移動手段の利便性の確保も行っている。町でも、今後交通インフラ整備がされる国道18号バイパス、インター先線の延伸が進展する中で、広域的な人の流れ、町の活性化等を踏まえ、千曲川右岸へのスーパー出店の相談があれば前向きな協力をしていく。

ため池の管理について

問 近年の異常気象は、

今までの経験や知見では対応が難しい状況である。
町の中山間地にあるため池の管理は。
商工農林課長 ため池は町内に15カ所ある。県の専門家と町で、今年8月「全国ため池緊急点検」を実施した。その結果は、全てのため池が適正に管理されており、直ちに災害につながる問題点はなかった。防災・減災の観点から適正管理を進める。

公文書

管理・保存の現状は

条例等の規定による



滝沢 幸映 議員

問 財務省による決裁文書改ざんに始まる不祥事は、国民感覚から懸け離れ、行政に対する信頼が失われた。当町の公文書管理、保存の現状と文書館設立への考えは。

町長 町が取り扱う行政文書は「実施機関の職員



整備された古文書閲覧室

が職務上作成し取得した文書、図画、電磁的記録であり、実施機関の職員が組織的に用い保有しているもの」である。適切な管理、保存、情報公開に努めている。また、文書の性質・内容により、1年から10年までの保存期間のものと、永年保存のものとを区別して管理している。

今年度より「古文書閲覧室」を整備し運用を開始した。古文書は、教育委員会会の所管する歴史的資料として取り扱われ、国の文書館の位置付けとは異なる。行政文書は歴史資料の対象としていない。文書館設立については国や県、他市町村の実施状況を踏まえ、検討する。

スポーツ吹矢

問 町内でも関心が高まっている。普及と推進を。

教育文化課長 安全性や町民ニーズを調べ、スポーツ推進員に提案する。

避難支援

名簿情報の提供はいつ

新年度から提供したい



小宮山 定彦 議員

消防ホース格納箱

問 鉄製の格納箱にさびが目立つ。見た目も悪いし、さびが出る前にペンを塗れば長持ちする。町内にはいくつの格納箱があり毎年のくくらい交換しているか。費用はど

のくらいか。また、例えば地区の自主防災会でペンを塗り直したいといった場合、材料の提供は可能か。防災意識の向上にもつながると思うが。

答 住民環境課長 町が管理している格納箱は393台。更新台数は、年10台程度で1台当たり2万2千円掛かる。ペンキ、はけ等を現物支給することは可能である。ありがたい話だ。

問 自主防災会など避難支援者との「避難行動要支援者名簿」による情報共有は、共助を実効性のあるものにするために不可欠である。そのための情報管理のルールづくりは、どこが中心となつてどのように進めるのか。また、完成の用途は。

町長 福祉健康課で着手した。情報の漏えい防止のために、提供先と協定を締結する方向で調整している。名簿作成の基準日を前倒しして新年度から提供を始めたい。



さびが目立つ格納箱

さわやかな町に

ノー残業デーの増加を

定時帰宅の増加で対応



柳沢 収 議員

問 職員の平均年齢は42歳とのことだが、職場の在り方としてノー残業デーを増やせないか。

総務課長 職員の働き方改革の一つとして、家族や友人と過ごしたり、地域活動に参加したりする時間などに充て、英気を養うよう毎週水曜



働き方改革に取り組む役場

日をノー残業デーとしている。他の曜日については会議や行事等の関係もある。町全体の会議運営の在り方やさらなる業務の効率化を図り、仕事の段取り等を工夫しながら定時で帰宅する日を増加できるように取り組む。

バランスの良い町に

問 村上地区に工業団地を造れないか。

町長 東河原工業適地がある。

村上地区全体としても、近い将来の国道バイパスの整備によりさらなる発展が見込まれている。顔の見える町に

問 役場庁舎をクールシェアスポットにできないか。

総務課長 来庁された皆さんの交流の場にもなる。役場庁舎の1階ロビーに設定することは可能であり、スポットの追加施設として検討する。

坂城駅周辺の活性化は

169系電車の利活用で

しなの鉄道



塚田 正平 議員

問 しなのの鉄道車両更新の計画と坂城駅周辺のバリアフリー化後の活性化は。

町長 車両製造から40年経過で近年故障が増加している。安全・安定輸送から全52車両、110億円を更新する計画である。



坂城駅前

建設課長 坂城駅乗降客の推移で坂城高校生徒の利用者が5年間で1日当たり80人減少している。169系電車によるクールシェアスポットでは、6日間で300人を超え、子どもたちが勉強などで利用した。今後も各種イベントで駅前広場から活性化につなげたい。

インター先線と工業団地

問 インター先線の進捗状況と新工業団地からA09号線の拡張計画は。
建設課長 県の事業主体

により、坂城インター開通から20年を経て27年度に事業化され、災害輸送道路とテクノさかき駅周辺へのアクセスから町の重要な幹線道路である。5月末の用地契約率は71%で、年度内には、しなの鉄道の跨線橋工事着手する予定である。

商工農林課長 鼠橋通りから工業団地までのA09号線は、新工業団地4haの造成に伴い、インター先線までの500mを延伸する。

500mを延伸する。

子育て支援

給食費の軽減を

就学援助費を検討する



入日 時子 議員

問 就学援助費は本来、学用品、参考書、学年費、修学旅行積立等

含まれるはずだが、実際は給食費を払えばほとんど残らない。せめて就学援助費支給の多子世帯に対し、給食費の軽減ができないか。

教育文化課長 給食の食料費は、保護者に負担してもらっている。町としては、生活困窮等の準要

保護者に対して就学援助をしている。

給食費を軽減すると、就学援助費も給食費軽減分が減ってしまう。就学援助費支給世帯の負担軽減を図るため、全体支給額を勘案し、給食費について支給できるよう検討したい。

中学校の環境整備

問 中学校は今、鳩のふんで困っている。軒下から網を垂らして鳩が近づかないよう対応できないか。

教育文化課長 鳩が寄りつかないようにさまざまな対策を取ったが、あまり効果が上がらない。鳩が止まらないような工夫や検討を継続的にしたい。

問 坂中のテニスコートの人工芝の張り替えと照明を付けられないか。

教育文化課長 人工芝の全面改修は、多額の費用が掛かるので計画的に行う。照明は現状必要ない。



坂中テニスコート

災害ごみ

処理計画の作成は

詳細計画として検討



西沢 悦子 議員

問 西日本豪雨災害で発生したごみは約290万t。このごみ処理について自治体が「災害ごみ処理計画」を作っていないため、仮置き場の選定等ごみ処理を巡り、復旧の初動が遅れたケースを指摘された。

災害後に出される不要物は全て災害ごみとなり、その処理は自治体が担うこととなっている。「災害ごみ処理計画」は速やかな復旧、救援活動を進めるために欠かせない。作成についての取り組みは。

町長 大規模災害における災害廃棄物を、適正かつ迅速に処理することは、大変重要なことである。今後、町地域防災計画の詳細計画として、整合性を図りながら検討する。

子どもの安全について



人命救助訓練（町総合防災訓練）

問 通学路の安全のため、目の届きにくい場所に防犯カメラの設置の考えは。

坂城小学校で新たなボランティアの募集があった。地域の人の支援は、犯罪抑止の大きな力になる。現在の状況は。

教育文化課長 防犯カメラ設置については、防犯の担当課と協議する。

学校支援ボランティアは、新たに9名の応募があった。他校にも勧める。

議会を傍聴してみませんか

次の定例会は12月初旬開会の予定です

事前の申し込みは不要です。当日議場（役場4階）へお越しください。

議 会 日 誌 (主なもの)

9月	8月	7月
26日 町例会現金出納検査	21日 長野県教職員組合	5・13日 議会報編集委員会
21日 議会運営委員会	20日 議会全員協議会	6日 上田地域広域連合議会管内視察
18日 (公財)さかきテクノセンター 理事会	10日 新国道上田篠ノ井間 建設促進期成同盟会要望活動	9・11日 総務産業常任委員会 (閉会中の調査)
3・26日 議会報編集委員会	23日 町商工業振興審議会	12日 町村議会広報クリニック 新国道上田篠ノ井間 建設促進期成同盟会理事会・総会
3・21日 9月議会定例会	24日 町例会現金出納検査	18・19・23・25・30日 決算審査
30日 葛尾組合議会臨時会	27日 議会運営委員会	18・19日 上田地域広域連合議会 行政視察
29日 六ヶ郷用水組合議会 全員協議会・臨時会	28日 決算審査報告受領	20日 議会全員協議会
28日 千曲坂城消防組合議会臨時会	23日 町商工業振興審議会	23・24日 社会文教常任委員会 (閉会中の調査)
27日 千曲坂城消防組合議会臨時会	21日 長野県教職員組合	26日 町例会現金出納検査 県道上室賀坂城停車場線 改良促進期成同盟会総会
24日 町例会現金出納検査	10日 新国道上田篠ノ井間 建設促進期成同盟会要望活動	27日 長野広域連合議会運営委員会
23日 町商工業振興審議会	3日 長野広域連合議会臨時会 行政視察	

追跡レポート

あれは どうなった…

議会だよりでは、定例議会での一般質問などについて、その後町政にどのように反映されているか追跡調査します。

質問

特定健診受診料の無料化を

健康寿命の延伸や医療費削減のため、国保加入者の特定健診受診料の自己負担分を無料化できないか。



答弁

国保特別会計の予算編成過程において総合的に判断をしていく。

それでどうなった

今年4月から受診にかかる自己負担額が無料になった。

質問

避難場所誘導看板の設置を

被災時に速やかに避難場所等に避難するため、民間企業で行っている電柱を利用した避難場所誘導看板を設置できないか。



答弁

電柱取付型の避難場所誘導看板も含め、誘導標識について検討していく。

それでどうなった

町内事業所の協力により、設置が始まった。

質問

工業用地の確保を

工業用地が残り少なくなった。町の基幹産業である工業のため、切れ目なく2haぐらいの確保を。

答弁

2haの2倍3倍を目標に工業用地確保をしたい。



それでどうなった

34年度分譲を目標に、テクノさかき駅西側へ4haの造成が決定した。

北限のワインづくり

総務産業常任委員会

55年を迎える。北限の地におけるワインブドウの栽培は冬季の凍害をどう乗り切るか、試行錯誤を繰り返した。

ブドウの木の仕立てをできる限り低くし、冬季覆土により北限でのワインブドウ栽培が可能となった。しかし、この栽培法は労働集約型で困難があり、その対策としてアムール川流域にある山ぶどうの苗木をベースとして、通常栽培のできる品種改良に向けて努力して

きた。この事業は現在売上9億円、利益は3千万円で、今までの利益の中から一般会計へ約20億円を繰り出し、町の産業として活性化に貢献している。

士幌町では移住・定住施策の視察を行った。短期・長期の移住体験施設を建設し、都会からの体験者をターゲットにした事業を進めている。

(朝倉 国勝)

総務産業常任委員会は7月9日(月)から11日(水)まで、北海道で視察研修を行った。

池田町では、昭和38年に自治体初のワインを製造した。

自然災害や十勝沖地震、凶作による財政悪化で昭和31年赤字再建団体の指定を受けた。この苦境から早急に脱却するため新しい産業を模索する中で、ワイナリー形成事業が重点プロジェクトとして決定された。今年で



池田町ワイン城

ハッピーマリッジ

社会文教常任委員会

社会文教常任委員会は7月23日(月)・24日(火)の両日、県外視察研修を行った。

初日は中津川市。2027年には「リニア岐阜県駅」が当市にでき、大いに発展が期待されるが目下の課題は、人口減でピーク時から5千人以上減少し、8万人を切ったとのこと。

移住・定住策の一環として結婚支援事業「ハッピーマリッジプロジェクト」の名ののもとに、婚活サイトの運営、頻繁な婚活パ-



日進市での研修

ティーの企画、定期的な相談所の開設等市の定住推進課自らが積極的に取り組んでいる様子が見られた。

一方では、結婚に対する消極的な気持ちやネットなどの指摘にご苦労がしのばれた。

二日目は40度に達しそうな猛暑の中、愛知県の日進市に移動。西は名古屋市、東は豊田市に隣接し、近年急速に都市化が進んでいる。全国

1700余の市町村が人口減に苦慮している中、人口増加率は全国有数であり、以前は2万人だったのが早晩10万人に達する勢いである。

研修の眼目は「障がい者総合支援事業」にあり、70ページに及ぶ資料を用意され懇切丁寧に説明していただいた。豊かな財政基盤の上に、きめの細かいさまざまな施策が講じられていた。

(小宮山 定彦)

担い手たち

坂城の将来像を探る

すみよい坂城町を求めて

〜坂城町商工会青年部〜

日頃より、青年部事業に対しご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

青年部は5月の子どもフェスティバルに始まりクリスマスキャンペーン、工業団地まつり、福祉ふれあいのつどい

等、町内のさまざまなイベントに参加しております。

「坂城どんどん」では、かき氷、ポップコーン、スーパースポーツ等の出店とともに、大ピンゴ大会、ガリガリ君早食いのイベントを行っております。毎年、担当委員長を中心に子どもたちと会場を盛り上げ、夜には踊り流しに正調踊りで参加しております。



そして、青年部最大の行事である「年末チャリティー」では、町内企業の皆様を中心に多くの名入れダルマの注文をいただき、当日は坂城神社にて福ダルマ、日本そば、わたあめ、たこ焼きの販売を行っております。この収益金の一部を町内の各種団体に「寄付金」という形でご協力さ



せていただいております。

最後になります。が題名の「すみよい坂城町を求めて」とは47年前に青年部が発足して以来変わらぬテーマであります。今後地域活性化に貢献できるよう活動して参りますのでよろしくお願い致します。

(坂城町商工会青年部長

宮原 淳)

読点

◆「兄さん(23)びっくり関東大震災1923年9月1日に、それは起こった。以来その日は「防災の日」そして9月は「防災月間」。

◆「天災(災害)は忘れた頃にやってくる」は、明治の科学者、随筆家でも有名な寺田寅彦の言である。大阪北部地震、西日本豪雨、災害酷暑、北海道胆振東部地震、台風21号と日本列島は立て続けに自然災害に見舞われた。今や「災害は忘れる間もなくやってくる」と言った方が実感に近い。

◆9月議会の一般質問に登壇した10名のうち6名が、切り口はさまざまだったが防災を取り上げた。◆心よりお見舞い申し上げますと言えるのは被災しなかった人。いつ何時お見舞いされる側になるかわからないと常に恐れ、自助の覚悟と備えをし、共助のつながりを持つとうとしなければいけません。他人事。

(小宮山 定彦)

発行責任者 議長
議会報編集委員会

委員長 西沢 悦子
副委員長 滝沢 幸映
委員 中嶋 登
山崎 正志
小宮山 定彦